巨視的な考え方が必要

想像を絶するこれからの十年

明けて一九七〇年代――すでに〝飛躍の年代〟というようにいわれていますが、年頭に当たって私たちの新潟市の未来を静かに見つめてみたいと思います。そこで、新潟商工会議所会頭、新潟日報社長、そして新潟市長の三者でいま談を結集してみました。

向う新潟市

―写真左から―

出席者　新潟日報社社長　小柳　胖　／　新潟商工会議所会頭　和田閑吉　／　新潟市長　渡辺浩太郎

市長　みなさん、明けましておめでとうございます。ことしもどうぞよろしくお願いします。さて、ことしは〝一九七〇年代〟の第一年めに当たるわけで、たしか例年の新年とは違った趣きがあるように思いますが、

和田　そうですね。経済の面からいますと、一九六〇年代は成長に次ぐ成長で、新潟の経済も非常に活発だった。七〇年代はスピードが落ちる、というよりはもっと着実な伸びに変わってゆくような気がします。

小柳　企業家の人たちに聞きますと、五年くらい先のことは予測できるが、十年というと適格な見通しが立たない、といっています。

和田　昔の二十年分がいまの五年くらいに当たるのではないですか、いやそれ以上か…。

市長　経済車の金額の伸上で出たというようなことに聞いたんですけど、経済は五年で二倍になるとみてるようですね。これまでは小さいのが二倍になった。こんどは大成長したのが倍に倍になるんですから、これまでの考え方を変えないと…。

小柳　そう、これまでの物指しでは測定できない何か大きなものになると思いますね。したがって巨視的な物の見方、考え方に変えてゆかないと、

和田　私は東港の背後地の土地を早く確保しておかないと困る。年々感じることになる、と思ってるんです。初めの計画では工場用地が二千万坪ぐらいだった。いま、それが四千五万坪になっている。這際のことを心配している向きもあるが、土地さえあれば這際なんいっでも来る。

市長　土地を買っても、果して売れるだろうか、と心配した一時期もあったようだけど、そんな心配はないですね。

小柳　このまえ、東北電力の平井会長にお会いしたとき、幹部の方で将来計画を立てて発表すると、君たちに「そんなじゃ小さすぎる」とおっしゃ上げたわる。もうオール・ボーイの考えじゃついてゆけない、といってましたよ。

和田　市長さん、ことにたりから大新潟市の構想を立ってもいいんじゃないですか。合併の希望のあるところは、どんどん合併しては、

新潟市は扇のカナメ

小柳　合併ということを出すと、言うはなしでできない（笑い）ことになりかねない事情もあるんじゃないですか。

市長　合併ということを全然考えていないわけでもないのです。地盤後の四十年に、県の方の意見、豊栄町、瓢箪村との合併協議会が誕生しています。その後復興事業先できたし、借金の返済というようなこともありまして開店休業になっている。もう一度県からはなし出してもらったら、あるいは……。

小柳　土・下水道やゴミの問題を考えても、隣接市町村が共同でやる時代にきている。いわゆる広域行政の考え方で。

市長　そうですね。私も市長会の方でも、その点についていろいろ検討を進めています。行政体として一本になるのが理想的ですが、うまくゆかない場合は広域行政からまず始める、ということ考えます。すでに上水道などは豊栄市と共同でやっています。

小柳　ところで、新潟市というのは日本海側の実にいい位置にあると思いますね。東洋大学の磯村学長さんは、新潟から富山までの工業都市圏、そこへ都山から松本、長野を拘いたかたちで東京と直結して、ちょうどT字型を形成している。新潟は絶対的条件をもっている、と声を大にしていっておられます。

和田　私もそう思います。山形、福島、関東、長野、富山の地形を考えると、新潟市はその扇のカナメになる。このくらい立地のいいところはないでしょう。

小柳　太平洋岸へ集中した工場がまた地方へ戻る、Uターン現象も見込まれる。企業というのは子孫の繁栄を願って、輸送コスト、労働力その他を勘案して、もっかるとなると出てくる。それについても入れ物がないと困る。

市長　企業が考えていることと行政の方の計画が一致しないスハーズにゆかない。そんなバカらが新潟市にほしい。

和田　経済には波というのがない。それが行政と根本的に違うところです。県の方では、日本海沿というのを考えておられるようだけど、新潟経済の実勢はやはり関東圏ですね。昨年一年間で、一極集型になってきましたね。東京との交通体形、あるいは企業の進出、人の交流をみても、

新幹線、高速道は早まる

小柳　そうして矢張の上に立って上越新幹線、東が早まりそうですね。五年後の昭和五十年がメドになっている。そうすると関東圏内の直通車運転も、われわれが考えているより早くなるんじゃないですか。日本を縦断するロッキ骨道路の中では、一番早いとみてるんです。

市長　私もそう思います。また、そうしなければならないと考えてゆくような気がします。

小柳　合併というとはなしでできない（笑い）ことになりかねない事情もあるんじゃないですか。

市長　合併ということを全然考えていないわけでもないのです。地盤後の四十年に、県の方の意見、豊栄町、瓢箪村との合併協議会が誕生しています。その後復興事業先できたし、借金の返済というようなこともありまして開店休業になっている。もう一度県からはなし出してもらったら、あるいは……。

小柳　土・下水道やゴミの問題を考えても、隣接市町村が共同でやる時代にきている。いわゆる広域行政の考え方で。

市長　そうですね。私も市長会の方でも、その点についていろいろ検討を進めています。行政体として一本になるのが理想的ですが、うまくゆかない場合は広域行政からまず始める、ということ考えます。すでに上水道などは豊栄市と共同でやっています。

小柳　ところで、新潟市というのは日本海側の実にいい位置にある、と思いますね。東洋大学の磯村学長さんは、新潟から富山までの工業都市圏、そこへ都山から松本、長野を拘いたかたちで東京と直結して、ちょうどT字型を形成している。新潟は絶対的条件をもっている、と声を大にしていっておられます。

和田　私もそう思います。山形、福島、関東、長野、富山の地形を考えると、新潟市はその扇のカナメになる。このくらい立地のいいところはないでしょう。

小柳　太平洋岸へ集中した工場がまた地方へ戻る、Uターン現象も見込まれる。企業というのは子孫の繁栄を願って、輸送コスト、労働力その他を勘案して、もっかるとなると出てくる。それについても入れ物がないと困る。

市長　企業が考えていることと行政の方の計画が一致しないスハーズにゆかない。そんなバカらが新潟市にほしい。

和田　経済には波というのがない。それが行政と根本的に違うところです。県の方では、日本海沿というのを考えておられるようだけど、新潟経済の実勢はやはり関東圏ですね。昨年一年間で、一極集型になってきましたね。東京との交通体形、あるいは企業の進出、人の交流をみても、

新幹線、高速道は早まる

小柳　そうして矢張の上に立って上越新幹線、東が早まりそうですね。五年後の昭和五十年がメドになっている。そうすると関東圏内の直通車運転も、われわれが考えているより早くなるんじゃないですか。日本を縦断するロッキ骨道路の中では、一番早いとみてるんです。

市長　私もそう思います。また、そうしなければならないと考えてはもうこの議会都市の意向も考えながら、一層広域的なプランが望まれるわけですね。

住みよい町づくり

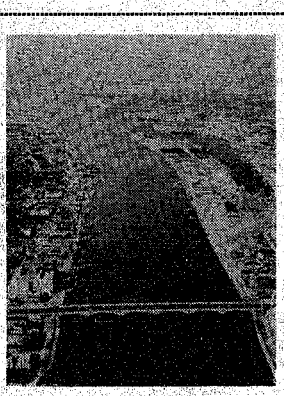
和田　お話聞いてから、ときどき勇気のいいことをいうわけじゃないけど、新潟市の将来性というのはたいしたものだと考えそよい、と思いますね。

小柳　市長さん、新潟市の旧市街地開発について、何か構想をもっておられるんじゃないですか？

市長　小柳さんに会長をしていただいた新潟市総合計画審議会の答申を頂戴しまして、近く総合計画を仕上げます。旧市街地再開発としては、関屋分水、刑務所、新潟鉄工所入船工場の移転考慮に入れ、さらに万代橋の二流側にいま一本橋を架けることも加味しています。

和田　これまで、下町（しもまち）といわれていた旧谷小路以北がぐっと変わってくるでしょうね。鉄工所の一部分でも、新天地を求めて引っ越して行ってるし。

市長　住宅地として再開発されると思います。開発庁坂というのは、



市の中央を流れるこの〝豊かな水〟が新潟市の将来性を約束している

ことからも…。

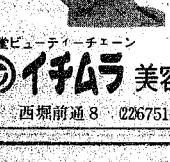
小柳　現在ではオフィスと商店がふえ、居住する人が減るという、いわゆるドーナッ現象が起きていますね。

市長　私は、これまでの二期間で五期にしようなど、高層化が進むとみています。市としてもそうした方向にリードしたい。そして、緑地や公園などもレイアウトして、住みよい町づくりを推進する考えです。その第一段階として、海浜、マリンコース、北部グランドわきに海洋少年団の運場、老人保健所など造り始めているわけです。

和田　古町十字路を中心とした一帯に大店舗が相次いで進出してきている。こうしたことも町の様相を変えてきています。

市長　住宅地として再開発されると思います。開発庁坂というのは、

新春おめでとうございます



資生堂ビューティーチェーン
イチムラ美容室
西堀前通8　026751

1970年おめでとうございます

ご家族うちそろって、笑顔があふれるお正月。たのしいご計画に、夢や希望もいっぱいの新年をお迎えのことでしょう。皆さまのお手伝いは、今年も〈ダイ四〉がいたします。すぐそばにある〈ダイ四〉を、どうぞよろしく。

今年もあなたのおそばにいつも〈ダイ四〉はあります

すぐそばにある　〈ダイ四〉

県下第一の設備と陣容

●普通第1種●普通第2種
●大型第1種●大型特殊
●身体障害者専門教習科

新潟県中央自動車学校

市内・効外
スクールバス運行
入学案内書送呈

新潟市鐙470　TEL 47-5201